



一つのこと

さて、担任として君たちに願うことを一言で言えば、「互いが互いを高め合う関係でいられるように努力なさい」ということである。

＊

新しい学年、新しいクラスになった今、新しいスタートを迎えるに当たって、自分にとって「日比谷の生活」とは何なのか、もう一度、素直に考えてみてほしい。

例えば、「部活・命」という人もいるだろう。例えば、「勉強です」という人も当然のことながらいるだろう…というか、いてほしい(笑)。「将来の夢や目標に向かって努力する」といった表現になるのかも知れないが、同時に、まだ進路がはっきりしていないから、それをはっきりさせることが目標だという人も多いに違いない。「友だちと過ごす昼休み」という人や、「三期指定万歳!SSH」とか「グロテンで地球を救う」系の人、「目指せ体育祭・合唱祭・星陵祭の三連覇!」といった「前期全力投球」型の人、さらに、「自分にとっての日比谷とは図書室である」とか「今年はドイツ語に生きる」といった決意の人、「昨年度同様に3年間皆勤を目指す!」という人…などなど、とにかく色々な思いがこのクラスの中には存在しているに違いない。

どうか先ずそれを、もう一度素直に自分の中で確かめてみてほしい。そして、自分がそれを実行できているのか、実行しようと努力しているのかを見つめ直して、これから始まる新しい生活に生かしてほしいと思う。

そして、それを確かめたなら、それぞれの思いを互いに大切にしよう関係を、クラスの中で創り上げてほしいと思うのである。

例えば、「部活命の人」と「行事命の人」では、前期にそれぞれの練習日程のことなどを巡ってコンフリクトが生じる場面も当然出てくるだろう。そういう時、自分のできる範囲をしっかりと告げ合って、互いの立場を尊重し合える関係を築いてほしいのである。出来ない時は出来ない、でも、出来る時には今まで出来なかった分を取り返すつもりで精一杯協力する…そんな互いを高め合う関係になってほしいと思うのである。

つまり、それぞれがそれぞれの「やりたいこと」を持っているのだから、自分のやりたいことだけを優先して相手の足を引っ張るのではなく、相手のことも視野に入れながら、相手の思いを尊重し、高めあえる関係になってほしいということだ。

そして、「勉強」を大切にする人のためにも(自分のためにも)、一時間一時間の授業を大切にする姿勢をもってほしい。科目には好き嫌いがあるから、「全部の科目を真剣に!」というのは難しいかも知れないが、自分が好きになれない科目でも、その科目に真剣に取り組んでいる人がいるのだということを忘れてはならない。だらけた態度で授業の雰囲気悪くして、一生懸命な人の足を引っ張るようなことがないように意識しあい、みんなでイイ授業を創りあげるクラスになってほしい。授業は「先生がするもの」ではなく、「先生と生徒が創りあげるLive」である。気持ちよく授業をしていただくことで、それぞれの先生方が持つ、最高のパフォーマンスを引き出すクラスになってほしいものだ。